



山口県警察

Economic Security Report

～ 狙われる日本の技術 ～

◆ 技術情報流出防止の必要性

日本の企業や研究機関等が保有する高度な技術情報は、諸外国の情報収集活動の対象となっています。こうした技術情報の流出は、自社の損失となるだけでなく、日本の国益を害するおそれがあります。

◆ 警察における技術情報流出防止対策への取組

警察では、技術情報等の流出防止に向けた対策の一環として、皆様のところへ訪問し、検挙事例に基づく具体的な手口についての情報を提供するとともに、各種相談の受付や不審情報等の通報を依頼しています。

〔事例〕 日本人通信関連会社元社員による不正競争防止法違反事件

通信関連会社の元社員が、政府職員を名乗る外国人に唆され、社内サーバーにアクセスし、携帯電話の無線基地局に関する営業秘密を不正に取得した事件

✓ スパイの心理操作テクニック

初期は公開情報を提供させ、最終的に社外秘の営業秘密の提供を要求

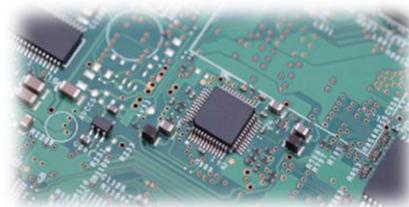
※ 情報提供の都度、報酬を供与

→ 情報提供や報酬への抵抗感を徐々に麻痺させ、最終的に、相手を脅し、要求を拒絶できない状況を作り出す！

✓ 発覚を免れる巧妙な手法

情報漏洩の発覚を免れる手法を教示

→ 発覚を恐れる気持ちを和らげる！



不審な様子や情報等を少しでも把握された場合は、遠慮なく、山口県警察本部外事課又は最寄りの警察署までご連絡ください。

山口県警察本部外事課(経済安全保障対策班)

☎ 083-933-0110

✉ yp-keizaiampo@police.pref.yamaguchi.lg.jp

